

その5

県内企業の景況感

現状は「下降」超幅が縮小、先行きは「上昇」超に転じる見通し

～財務省景気予測調査結果から～
財務部が平成十四年十一月に県内の資本金一千万円以上の法人企業（金融・保険業を除く）を対象に実施した財務省景気予測調査結果の概要を紹介します。

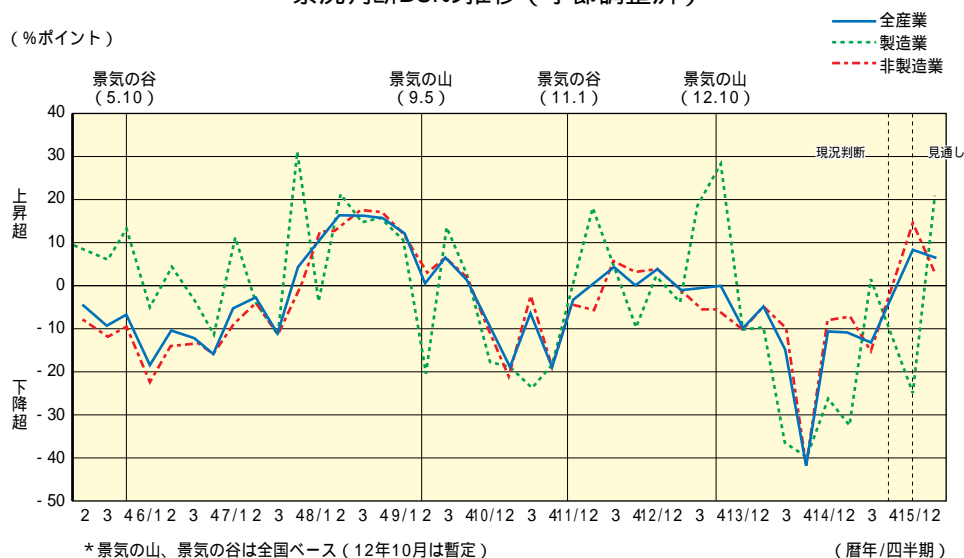
景況判断

十四年十一月十二月の景況判断B S I（前期比「上昇」「下降」社数構成比・季節調整済）をみると、製造業で「下降」超に転じているものの、ウエイトの高い非製造業で「下降」超幅が縮小していることから、全産業では「下降」超幅が縮小している。

先行きについては、十五年一～三ヶ月期は製造業で「下降」超幅が拡大するものの、ウエイトの高い非製造業で「上昇」超に転じることから、全産業では「上昇」超に転じる見通しとなっている。

十五年四月～六ヶ月期は製造業で「上昇」超に転じるものの、ウエイトの高い非製造業で「上昇」超幅が縮小することから、全産業ではわずかながら「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

景況判断BSIの推移（季節調整済）



売上高（石油、電気、ガスを除く）

(増減()率: %)

区 分	前 年 同 期 比		
	14 年 度		
	上 期	下 期	通 期
全産業	(3.2) 1.4	(3.3) 3.1	(3.3) 2.3
製造業	(0.3) 2.4	(0.2) 1.0	(0.2) 1.7
非製造業	(3.7) 2.0	(3.9) 3.8	(3.8) 2.9
建設業	(20.8) 3.5	(4.1) 9.1	(3.4) 5.3
卸・小売業	(3.2) 1.9	(4.4) 1.8	(3.8) 1.9
サービス業	(1.6) 0.2	(8.0) 9.1	(4.6) 4.5
うちホテル等	(2.0) 2.5	(12.2) 11.7	(6.6) 6.6
大企業	(3.2) 3.4	(4.5) 3.7	(3.8) 3.6
中堅企業	(3.5) 1.0	(3.9) 3.9	(3.7) 2.5
中小企業	(1.7) 0.6	(0.6) 0.5	(0.6) 0.1

() は前回 8 月調査

経常損益（石油、電気、ガスを除く）

(増減()率: %)

区 分	前 年 同 期 比		
	14 年 度		
	上 期	下 期	通 期
全産業	(3.2) 0.5	(33.0) 34.9	(13.4) 12.1
製造業	(33.7) 27.4	(12.7) 4.4	(2.0) 5.9
非製造業	(0.1) 3.7	(62.5) 59.3	(16.1) 13.7
建設業	(72.9) 15.7	(35.6) 40.2	(21.8) 33.1
卸・小売業	(1.5) 11.0	(20.3) 18.2	(11.1) 3.7
サービス業	(15.7) 25.6	(黒字転化) 黒字転化	(139.0) 146.9
うちホテル等	(24.0) 31.4	(黒字転化) 黒字転化	(505.5) 489.9
大企業	(5.2) 1.1	(黒字転化) 黒字転化	(15.1) 15.2
中堅企業	(12.3) 6.2	(20.2) 23.2	(16.5) 10.4
中小企業	(0.6) 7.2	(17.7) 28.9	(5.2) 13.1

() は前回 8 月調査

売上高：十四年度は増収見込み

経常損益：十四年度は増益見込み

十四年度下期は、製造業で「減収」とみているものの、非製造業で「増収」とみていることから、全産業では「増収」見込みとなっている。

十四年度下期は、製造業で「減益」とみているものの、非製造業で大幅な「増益」とみていることから、全産業では「増益」見込みとなっている。

十四年度通期は、製造業で「減収」とみているものの、非製造業で「増収」とみていることから、全産業では「増収」見込みとなっている。

B S I とは...景気動向指数（ビジネスサーベイインデックス）をいい、表の見方は次のとおりです。

B S I = (「上昇」等と回答した企業の構成比) - (「下降」等と回答した企業の構成比)